

基本的事項

＜入院患者推計＞(P3～5)

- ・人口は年々減少するが、75歳以上の高齢者は年々増え続け、2015年比で2025年は1.3倍でピークを迎え、その後は減少に転じ、2040年は1.17倍となる。
- ・患者数は、2025年には2015年比1.12倍に、2030年には1.14倍に増加し、その後は減少に転じる。特に65歳以上の患者は2035年まで、75歳以上の患者は2030年まで増え、その後、減少に転じる。65歳未満の患者は年々減少する。
- 疾患別:循環器、呼吸器の増加率が高い。

＜病床の状況(病床機能報告・病院報告)＞(P6～P9)

- ・病床機能報告においては、28年度と比較して、高度急性期、慢性期と報告された病床数が減り、急性期、回復期と報告された病床数が増えているが、病床機能別の傾向には大きな変動はない。 ・休棟中病床は435床
- ・病床利用率は比較的安定して推移している。
- ・平均在院日数・平均在院患者数は減少傾向

＜自己完結率、レセプト等＞(P12～P18)

- ・回リハ病床の自己完結率は56.1%で横浜南部に30%流出しているが、病床利用率は90%と高くなっている。
- ・レセプト出現比では、回リハ・地域包括ケア病棟(約50%～54%)をはじめ、回復期・慢性期が低い傾向(約50%～54%)である。
- ・療養病床における急性期や在宅からの患者受付は61.4%であるが、在宅療養中の患者の緊急入院の受け入れは164.9%と高くなっている。

＜救急＞(P20～P28)

- ・二次救急の自己完結率は82.2%(横浜南部に12.8%流出)、流出超過。 ・二次救急、三次救急体制のレセプト出現比が高い。
- ・救命救急センター(湘南鎌倉、うわまち、横須賀共済)で圏域内の7割強の救急の受入れを担っている。
- ・出動件数、搬送人員ともに増加傾向(特に高齢者) ・逗子・葉山地域は最寄りの病院まで30分以上かかる傾向が見られる。

【課題・論点】

- 医療需要は2030年以降まで増加するが、一定程度、計画的に病床を整備する必要があるか。
- 病床機能報告は、回復期が少なく報告されているが、急性期・回復期の間での連携の状況をどう考えるか。
- 回復期リハ病床の自己完結率が低く、横浜南部への流出が多いという地域特性は引続き見られるが、地域で支障は生じているか。
- 急性期に比べ、回復期・慢性期(回復期リハ病棟、地域包括ケア病棟)のレセプト出現比が少ないため、ポストアキュート・サブアキュート機能に不足は生じていないか。
- 救命救急センターが2次・3次救急機能を過大に担っている可能性があるが、中等症の後方支援(地ケア病棟等)などに不足は生じていないか。

平成30年10月23日

横須賀・三浦構想 区域の現状

人口・患者数等推移 病床利用率等の状況

県内の人口と入院患者の推移

出典: <http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>
 国立がん研究センター 石川ベンジャミン光一先生

都道府県 14神奈川県

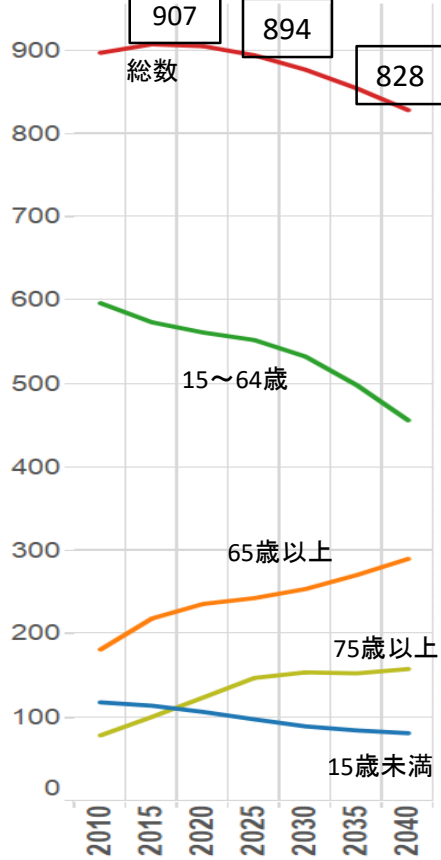
2次医療圏 すべて

市区町村 すべて

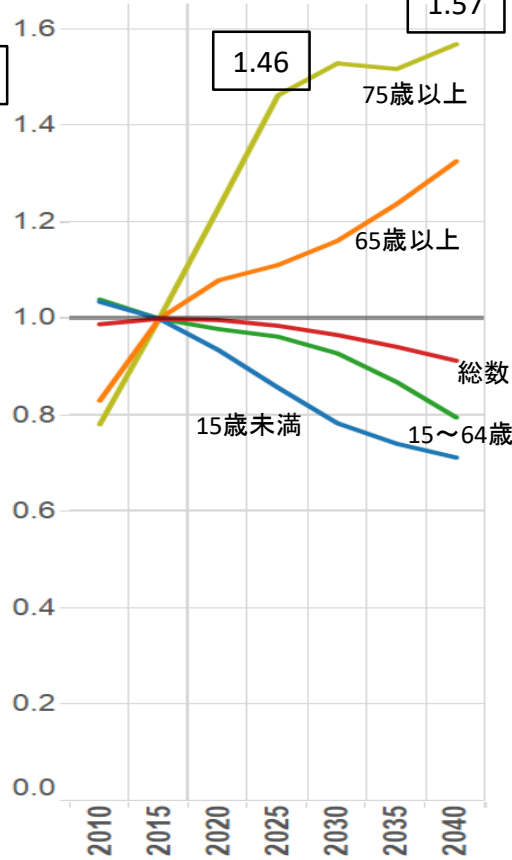
人口と入院患者数

傷病 xALL総数

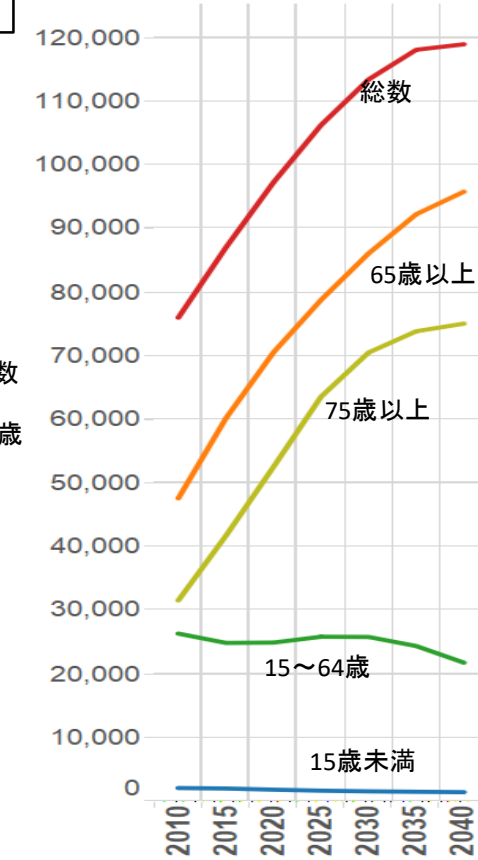
年齢区分別人口(万人)



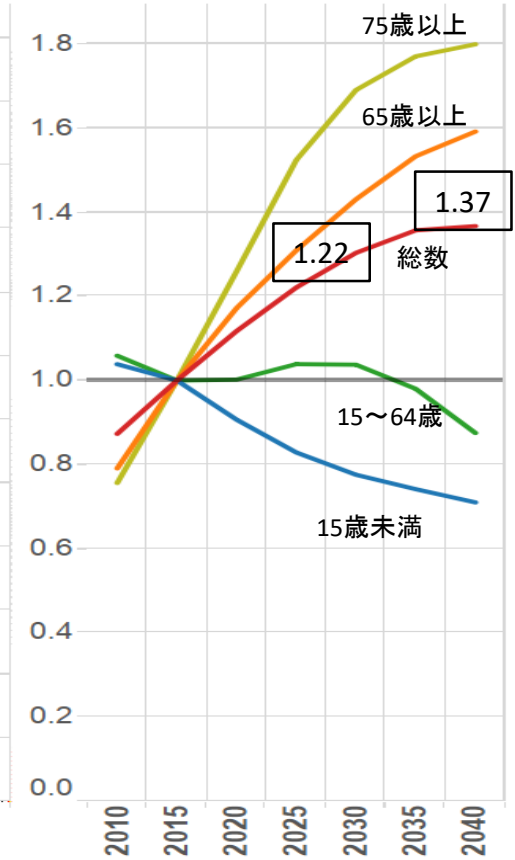
変化率(2015年基準)



1日入院患者数(人)



変化率(2015年基準)



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

※人口: 性年齢階級別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)
 ※推計患者数: 性年齢階級別人口 × 性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

- ・人口は年々減少するが、65歳以上の高齢者は、年々増え続ける。特に75歳以上の高齢者の増加率が高く、2025年には、2015年比約1.46倍、2040年には約1.57倍に増加する。
- ・患者数は、2025年には、2015年比1.22倍に増加し、2040年にも1.37倍に増加する。65歳未満の患者は2030年を機に減少に転じる。

横須賀・三浦地域における人口と入院患者の推移

出典: <http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>
 国立がん研究センター 石川ベンジャミン光一先生

都道府県 14神奈川県

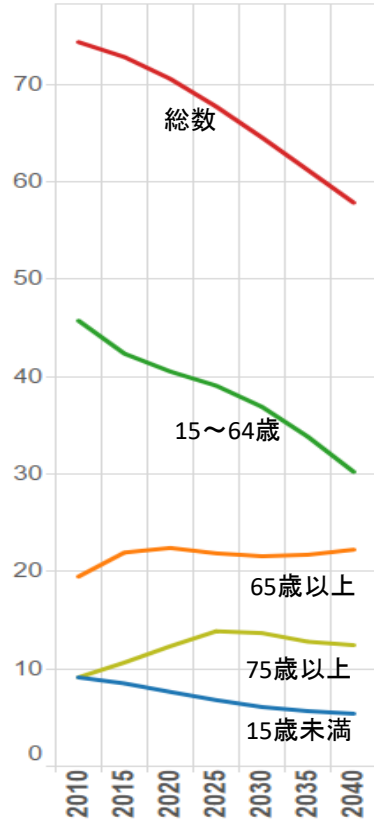
2次医療圏 1406横須賀・三浦

市区町村 すべて

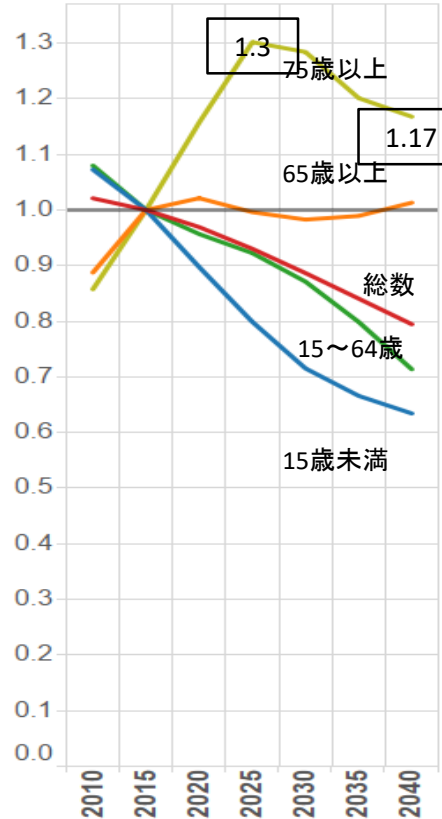
人口と入院患者数

傷病 xALL総数

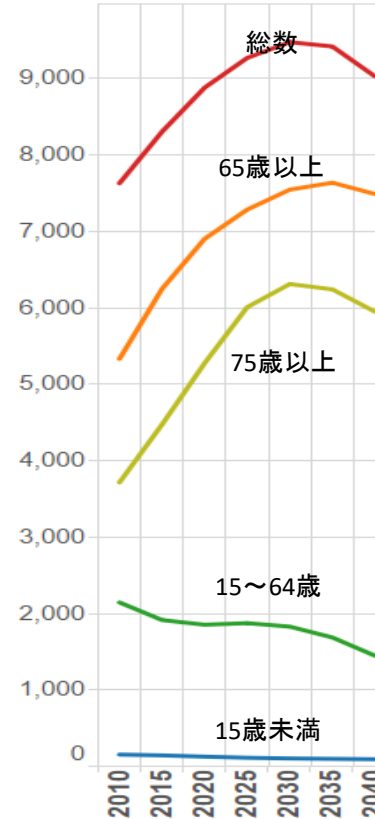
年齢区分別人口(万人)



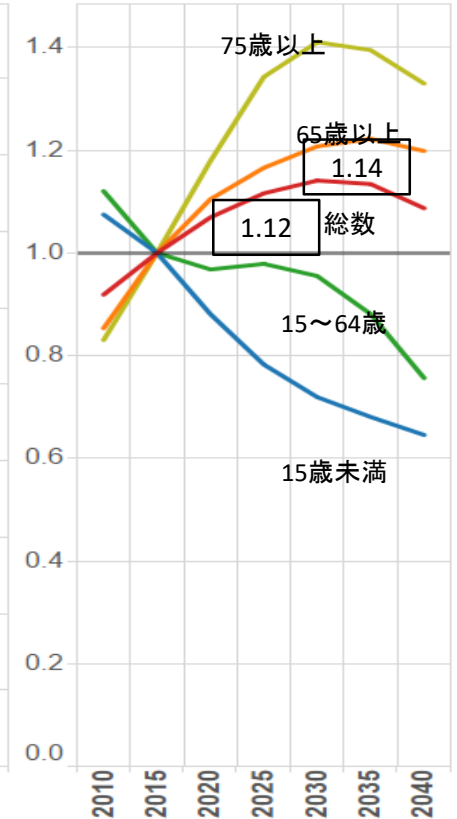
変化率(2015年基準)



1日入院患者数(人)



変化率(2015年基準)



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

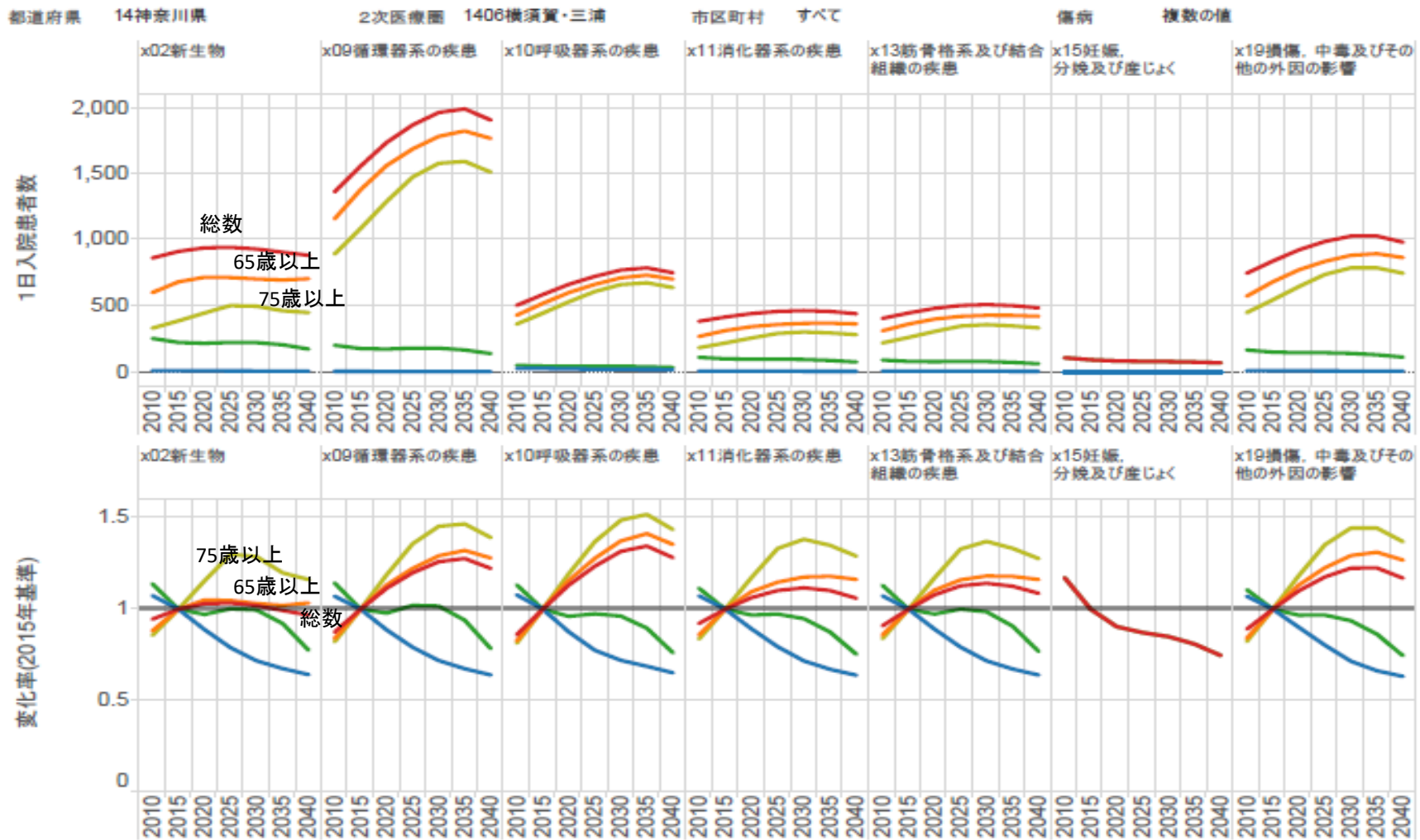
※人口: 性年齢階級別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

※推計患者数: 性年齢階級別人口 × 性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

・人口は年々減少するが、75歳以上の高齢者は年々増え続け、2015年比で2025年は1.3倍でピークを迎え、その後は減少に転じ、2040年は1.17倍となる。
 ・患者数は、2025年には2015年比1.12倍に増加し、2030年には1.14倍に増加し、その後は減少に転じる。特に65歳以上は2035年まで増え、75歳以上の患者は2030年まで増え、その後は減少に転じる。65歳未満の患者は年々減少する。

横須賀・三浦地域における疾患別の入院患者の推移

出典: <http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>
 国立がん研究センター 石川ベンジャミン光一先生

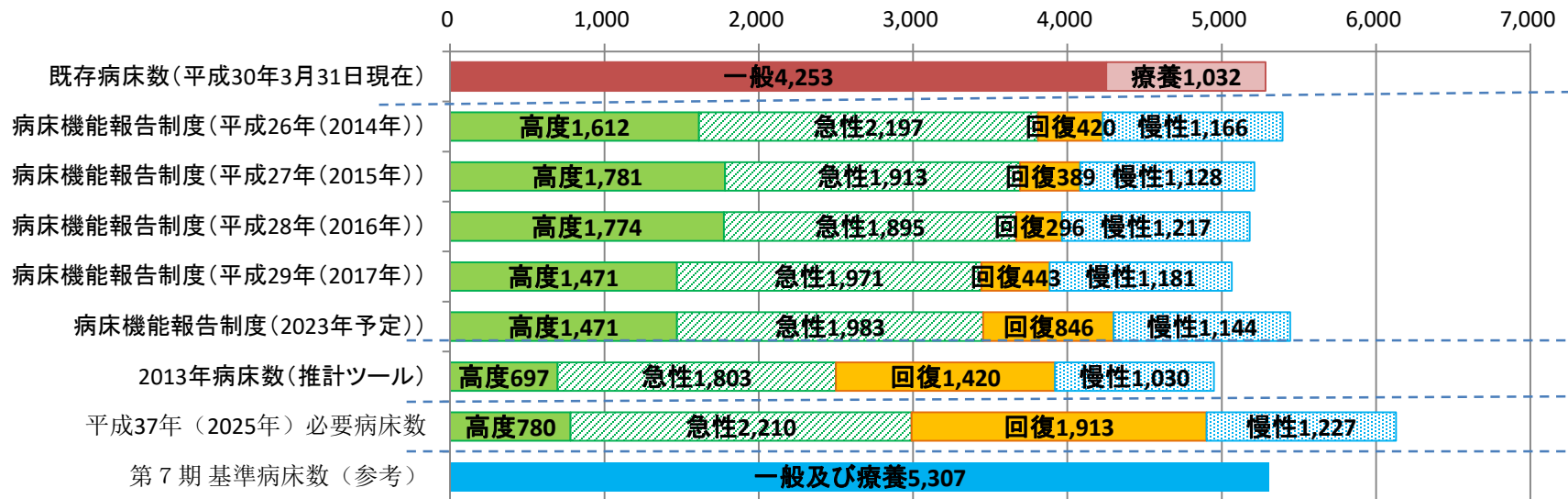


H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

※推計患者数: 性年齢階級別人口 × 性年齢階級別受療率 (H26年患者調査)

・2025年に向けて、分娩を除き、すべての疾患で増加し続ける。循環器、呼吸器系の疾患の増加率が高い。

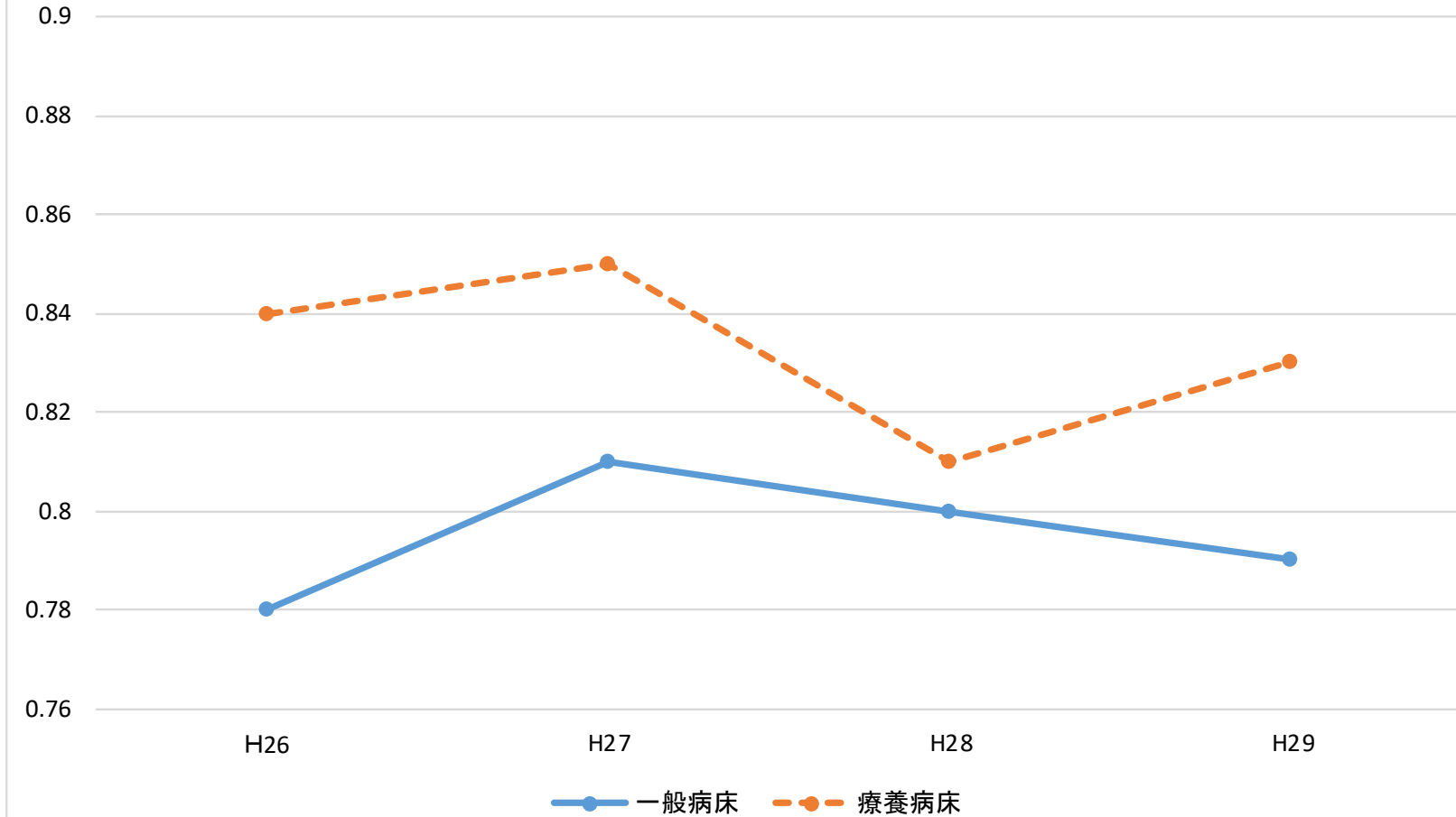
横須賀・三浦における病床数(全体)



区分	一般病床				療養病床	合計	備考
	高度急性期	急性期	回復期	小計	慢性期	合計	
既存病床数(平成30年4月1日現在)	4,253				1,032	5,285	H19.1.1以前に許可の有床診を含めていないことや補正の関係から病床機能報告等の結果と数値が異なる
病床機能報告制度(平成26年(2014年))	1,612	2,197	420	4,229	1,166	5,395	現状把握の指標として用いられるとされている数値。報告率94.2% 休棟中等195床を除く
病床機能報告制度(平成27年(2015年))	1,781	1,913	389	4,083	1,128	5,211	同上。報告率97.6% 休棟中等295床は除く
病床機能報告制度(平成28年(2016年))	1,774	1,895	296	3,965	1,217	5,182	同上。報告率100% 休棟中等349床は除く
病床機能報告制度(平成29年(2017年))	1,471	1,971	443	3,885	1,181	5,066	同上。報告率100% 休棟中等435床は除く
病床機能報告制度(2023年予定)	1,471	1,983	846	4,300	1,144	5,444	同上。報告率100% 休棟中等57床は除く
平成25年(2013年)病床数(推計ツール)	697	1,803	1,420	3,920	1,030	4,950	将来の必要病床数の推計方法と同じ計算方法で算出した平成25年(2013年)の病床数
将来	780	2,210	1,913	4,903	1,227	6,130	
参考	-					5,307	保健医療計画(第7期)の数値

横須賀・三浦地域 病床利用率の推移

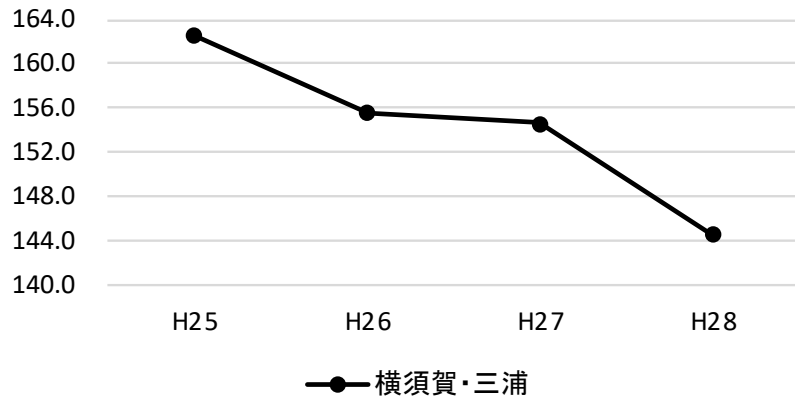
出典：病床機能報告



	H26	H27	H28	H29
一般病床	0.78	0.81	0.80	0.79
療養病床	0.84	0.85	0.81	0.83

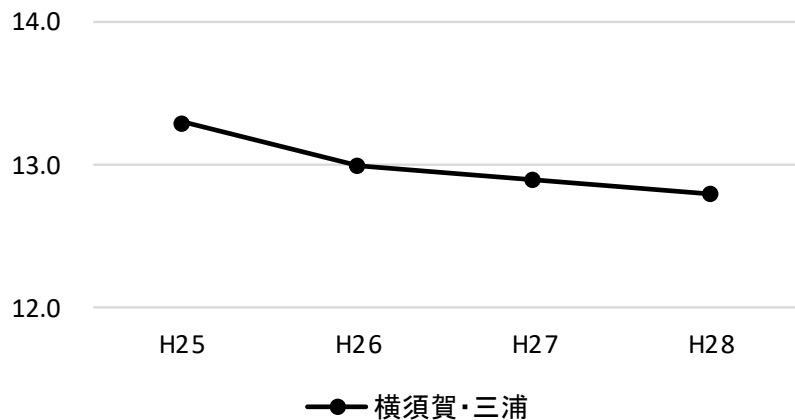
〇年により多少は上下しているが、比較的安定して推移していると考えられる。

平均在院日数(療養病床)



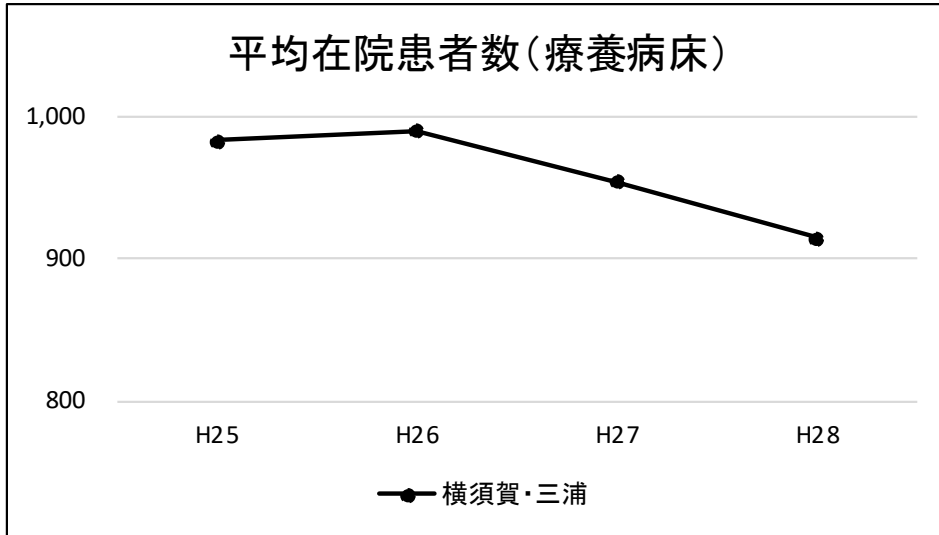
療養病床	H25	H26	H27	H28
横須賀・三浦	162.6	155.6	154.6	144.6

平均在院日数(一般病床)

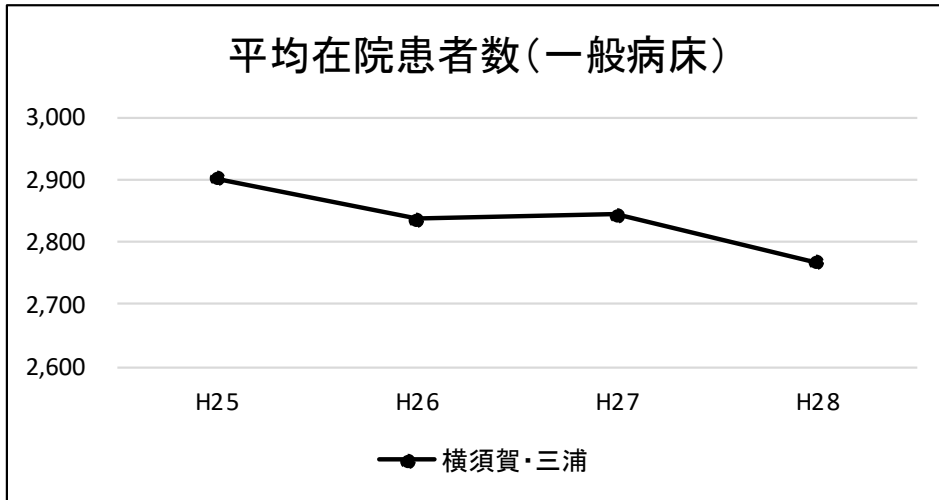


一般病床	H25	H26	H27	H28
横須賀・三浦	13.3	13.0	12.9	12.8

○平均在院日数は一般・療養ともに短縮傾向にある。



療養病床	H25	H26	H27	H28
横須賀・三浦	983	990	954	915



一般病床	H25	H26	H27	H28
横須賀・三浦	2,903	2,837	2,845	2,768

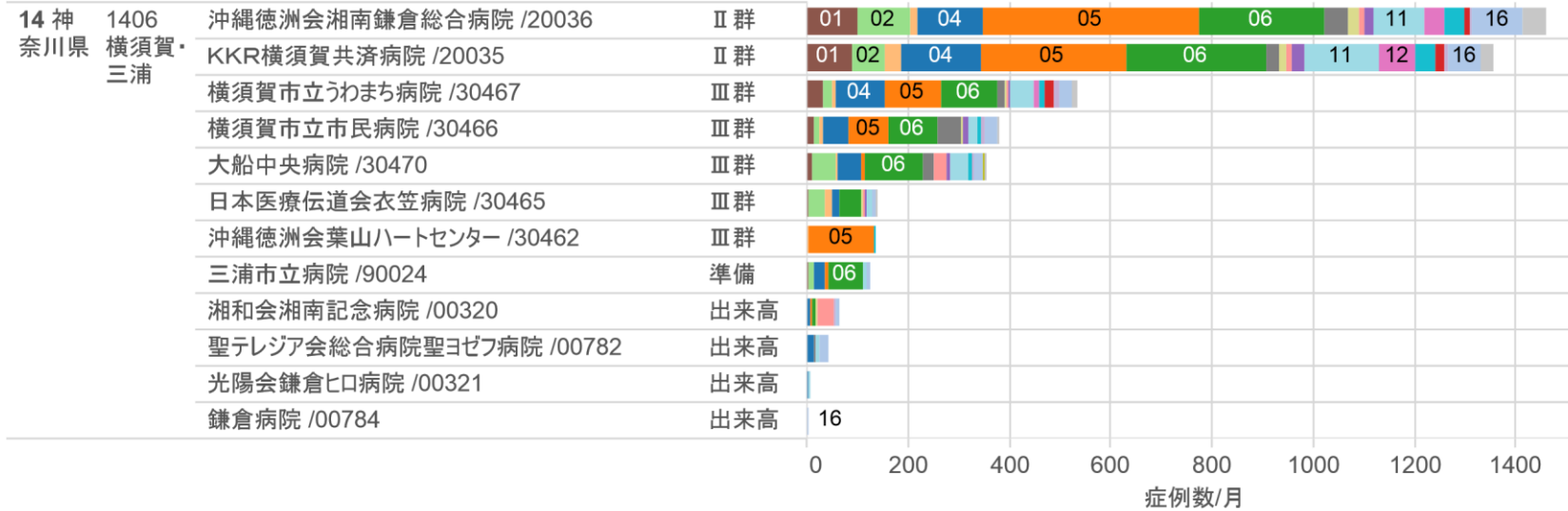
○療養病床、一般病床ともに横須賀・三浦は漸減傾向にある。

横須賀・三浦におけるDPC対象病院の診療実績 (上段:平成27年度DPCデータ:MDC別全患者)

MDC別患者数

都道府県 すべて

2次医療圏 1406 横須賀・三浦



病院種別

- I群
- II群
- III群
- 準備
- 出来高

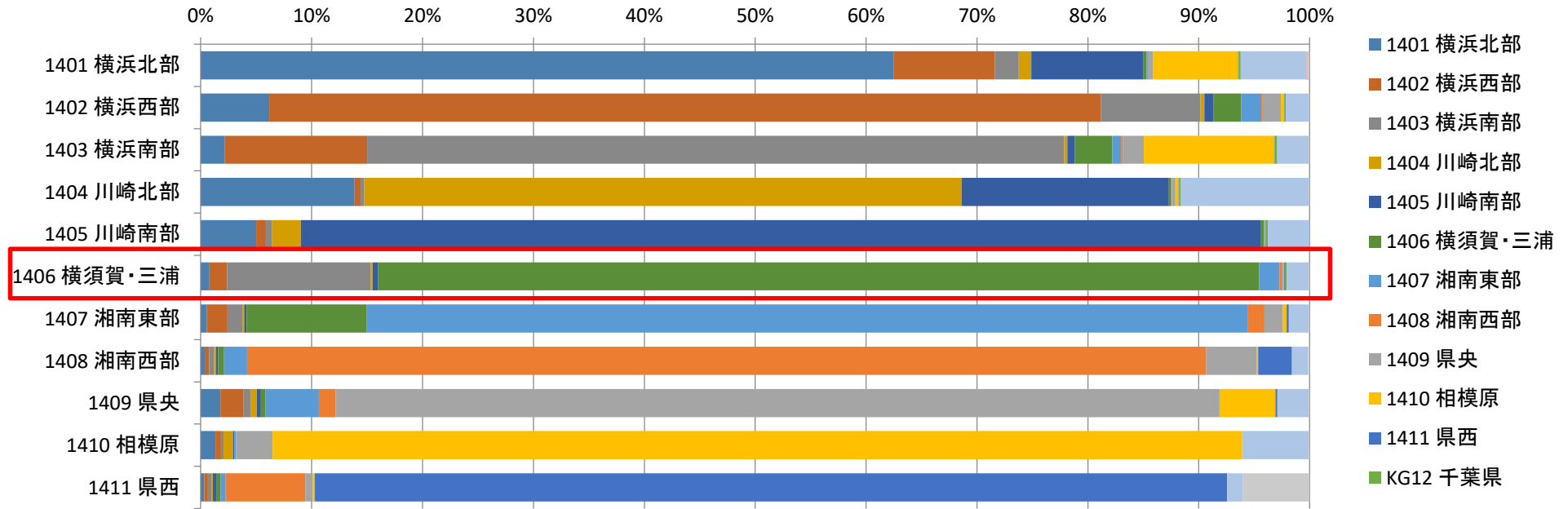
MDCtitle

- 01神経系疾患
- 02眼科系疾患
- 03耳鼻咽喉科..
- 04呼吸器系疾..
- 05循環器系疾..
- 06消化器系疾..
- 07筋骨格系疾..
- 08皮膚・皮下..
- 09乳房の疾患
- 10内分泌・栄..
- 11腎・尿路系..
- 12女性生殖器..
- 13血液・造血..
- 14新生児疾患..
- 15小児疾患
- 16外傷・熱傷・..
- 17精神疾患
- 18その他

出典: <http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>
 国立がん研究センター 石川ベンジャミン光一先生

**自己完結率、 S C R、
患者数等**

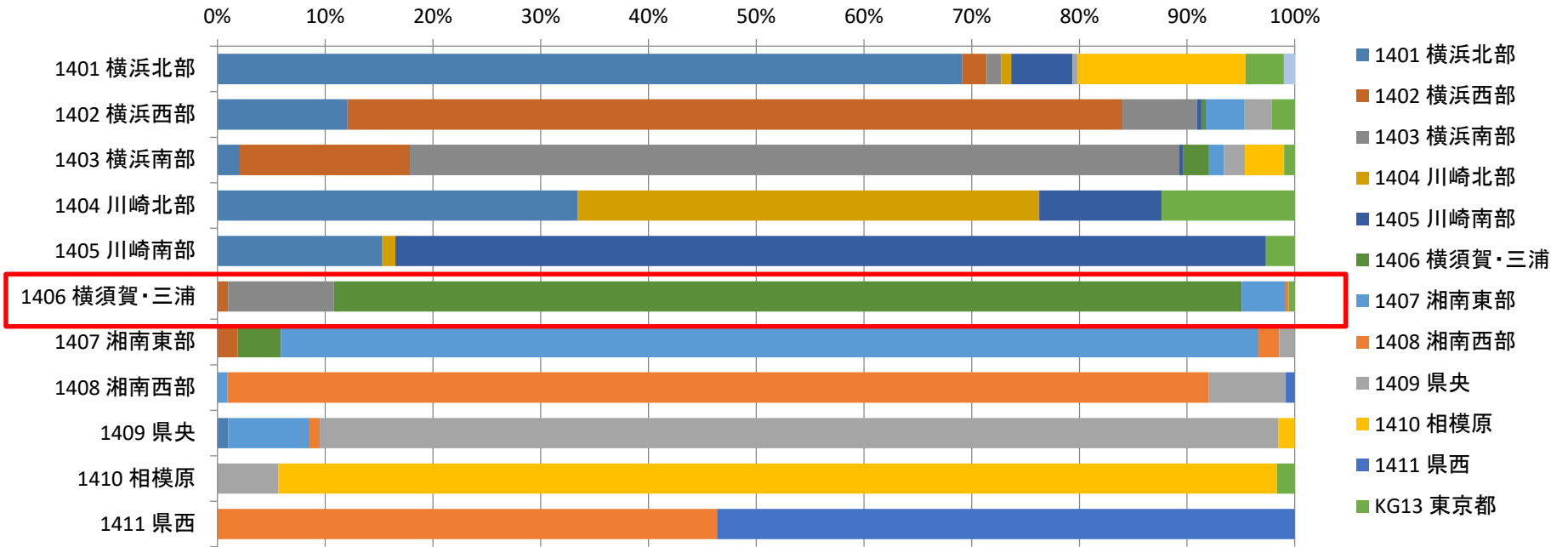
横須賀・三浦における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:一般病床入院 7:1、10:1)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名																
負担者二次医療圏名	1401 横浜北部	1402 横浜西部	1403 横浜南部	1404 川崎北部	1405 川崎南部	1406 横須賀・三浦	1407 湘南東部	1408 湘南西部	1409 県央	1410 相模原	1411 県西	KG12 千葉県	KG13 東京都	KG19 山梨県	KG22 静岡県	総計	
1401 横浜北部	62.46%	9.14%	2.19%	1.11%	10.07%	0.31%	0.13%	0.06%	0.43%	7.66%	0.05%	0.17%	5.95%	0.17%	0.11%	95,026	
1402 横浜西部	6.19%	74.98%	8.99%	0.34%	0.81%	2.50%	1.82%	0.07%	1.69%	0.29%	0.04%	0.13%	2.09%		0.06%	76,460	
1403 横浜南部	2.18%	12.84%	62.86%	0.27%	0.65%	3.40%	0.81%	0.14%	1.90%	11.75%	0.06%	0.22%	2.83%		0.11%	87,234	
1404 川崎北部	13.89%	0.54%	0.33%	53.85%	18.70%	0.18%	0.05%	0.03%	0.34%	0.28%	0.05%	0.16%	11.54%		0.08%	35,339	
1405 川崎南部	5.01%	0.87%	0.55%	2.60%	86.60%	0.25%	0.03%	0.03%	0.05%		0.03%	0.21%	3.78%			39,649	
1406 横須賀・三浦	0.79%	1.60%	12.95%	0.17%	0.47%	79.47%	1.83%	0.19%	0.14%	0.08%	0.06%	0.17%	2.01%		0.07%	57,299	
1407 湘南東部	0.56%	1.86%	1.33%	0.17%	0.22%	10.80%	79.47%	1.52%	1.66%	0.33%	0.14%	0.07%	1.80%		0.07%	44,356	
1408 湘南西部	0.36%	0.42%	0.45%	0.15%	0.18%	0.55%	2.07%	86.51%	4.55%	0.11%	3.04%	0.03%	1.43%		0.16%	34,606	
1409 県央	1.77%	2.10%	0.67%	0.50%	0.38%	0.44%	4.81%	1.49%	79.73%	5.04%	0.11%	0.10%	2.80%		0.07%	47,281	
1410 相模原	1.33%	0.51%	0.22%	0.85%	0.12%		0.16%		3.30%	87.42%			6.01%		0.08%	12,816	
1411 県西	0.32%	0.33%	0.34%	0.10%	0.36%	0.34%	0.45%	7.17%	0.69%	0.16%	82.29%		1.42%		6.01%	26,009	
総計	74,799	80,776	72,724	22,204	52,424	56,138	41,678	33,547	44,186	31,706	22,752	778	20,196	159	2,008	556,075	

・79.5%の患者が入院医療を圏域内で完結している。流出超過。(H26から同傾向)

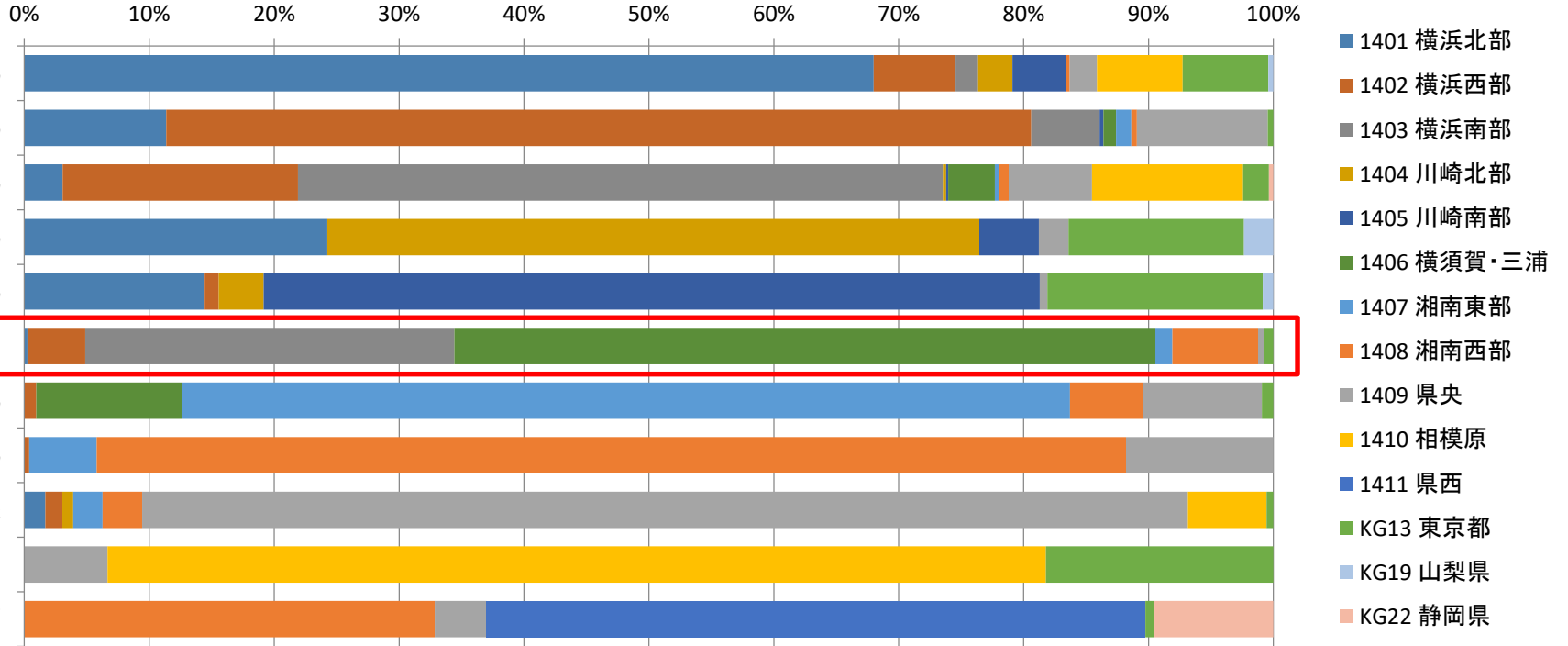
横須賀・三浦における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:地域包括ケア病床入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名												山梨県	総計
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	東京都	山梨県	総計
1401 横浜北部	69.10%	2.29%	1.34%	0.96%	5.67%					0.46%	15.62%	3.56%	1.02%	6,582
1402 横浜西部	12.08%	71.92%	6.92%		0.41%	0.41%	3.59%			2.51%			2.15%	3,899
1403 横浜南部	2.09%	15.77%	71.43%		0.33%	2.41%	1.40%			1.94%	3.64%		1.00%	5,218
1404 川崎北部	33.45%			42.83%	11.35%								12.37%	1,172
1405 川崎南部	15.27%			1.26%	80.79%								2.68%	1,827
1406 横須賀・三浦		1.00%	9.82%			84.24%	4.08%	0.29%				0.57%		3,503
1407 湘南東部		1.87%				4.02%	90.74%	1.91%	1.40%					2,402
1408 湘南西部							0.91%	91.06%	7.19%			0.84%		2,964
1409 県央	0.99%						7.55%	0.95%	88.96%	1.55%				2,518
1410 相模原									5.63%	92.72%			1.64%	852
1411 県西								46.37%			53.63%			647
総計	5,824	3,859	4,429	588	2,015	3,192	2,807	3,080	2,766	2,047	372	598	67	31,644

・84.2%の患者が入院医療を圏域内で完結している。流出超過。

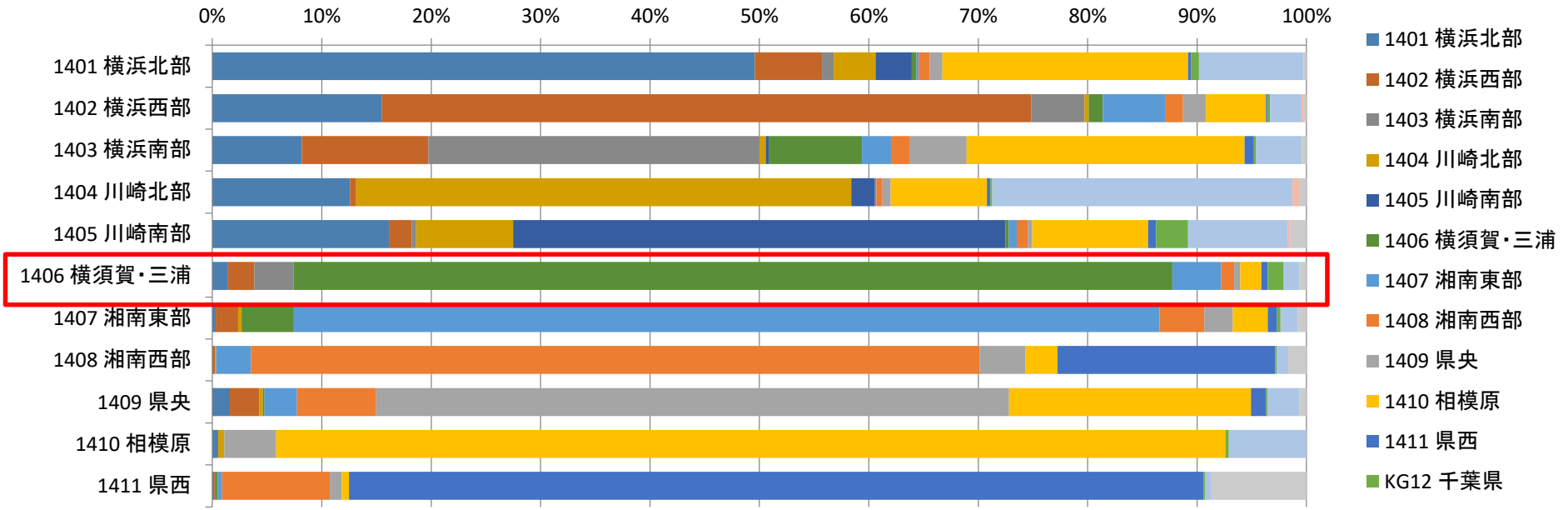
横須賀・三浦における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:回復期リハビリテーション病床入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名														総計
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	東京都	山梨県	静岡県	総計
1401 横浜北部	68.00%	6.54%	1.81%	2.76%	4.26%				0.31%	2.19%	6.87%	6.85%	0.41%		6,085
1402 横浜西部	11.36%	69.26%	5.48%		0.29%	1.01%	1.23%	0.45%	10.46%				0.47%		5,767
1403 横浜南部	3.08%	18.84%	51.62%	0.25%	0.17%	3.74%	0.31%	0.80%	6.67%	12.09%				0.37%	7,119
1404 川崎北部	24.26%			52.18%	4.77%					2.38%			14.05%	2.35%	3,273
1405 川崎南部	14.44%	1.13%		3.58%	62.14%					0.60%			17.23%	0.87%	2,652
1406 横須賀・三浦	0.25%	4.64%	29.53%			56.12%	1.36%	6.87%	0.45%			0.78%			4,483
1407 湘南東部		0.96%				11.67%	71.07%	5.87%	9.50%			0.93%			3,222
1408 湘南西部		0.39%					5.40%	82.41%	11.80%						2,797
1409 県央	1.69%	1.36%		0.87%			2.34%	3.18%	83.71%	6.31%		0.54%			3,677
1410 相模原									6.66%	75.13%		18.21%			1,126
1411 県西									32.85%	4.14%	52.77%	0.71%		9.54%	1,982
総計	6,262	6,063	5,425	2,021	2,092	3,216	2,681	3,672	5,196	2,357	1,046	1,812	125	215	42,183

・56.1%の患者が入院医療を圏域内で完結し、29.5%が横浜南部に流出している。流出超過。(H26から同傾向)

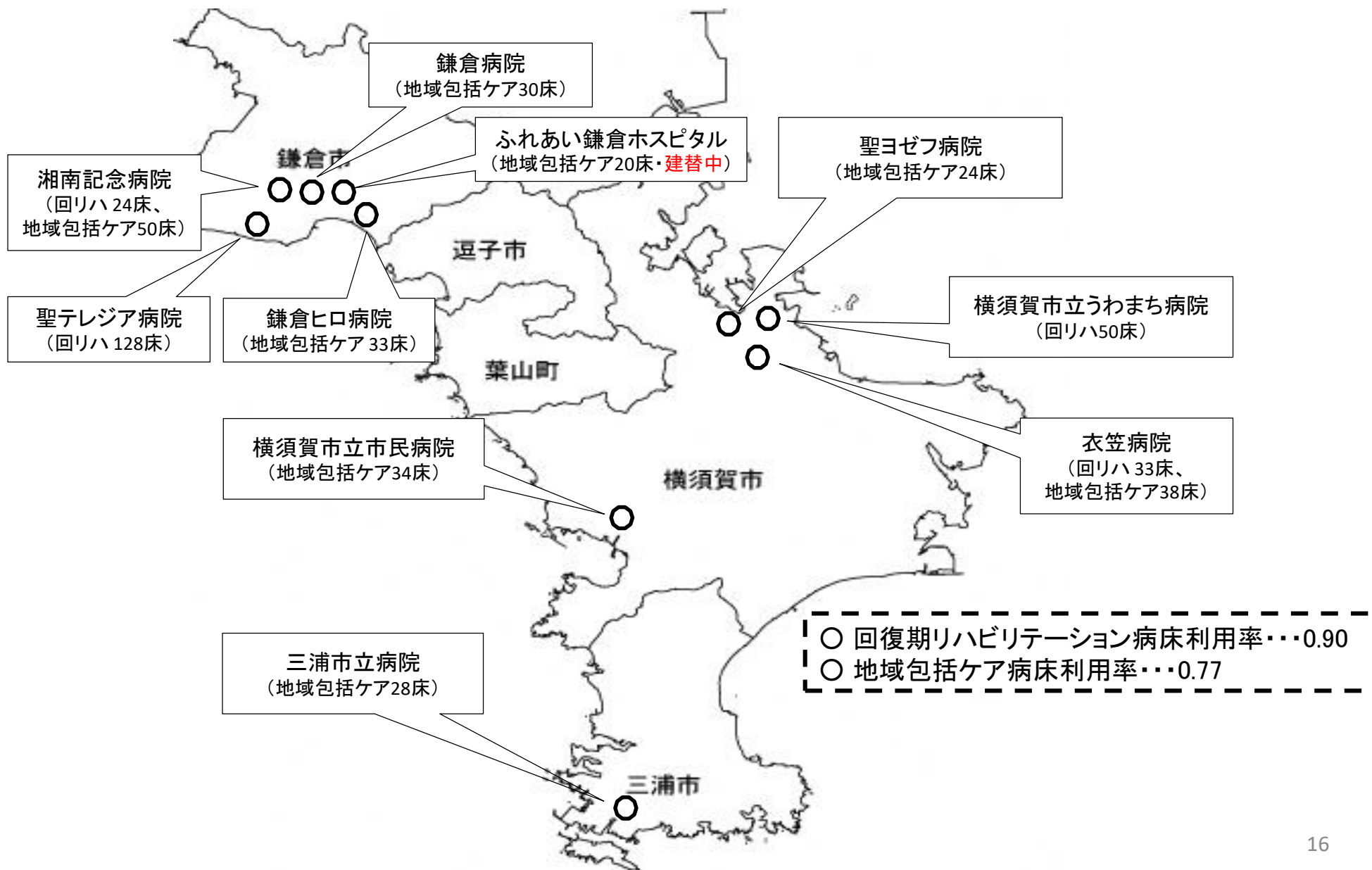
横須賀・三浦における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:療養病床入院)



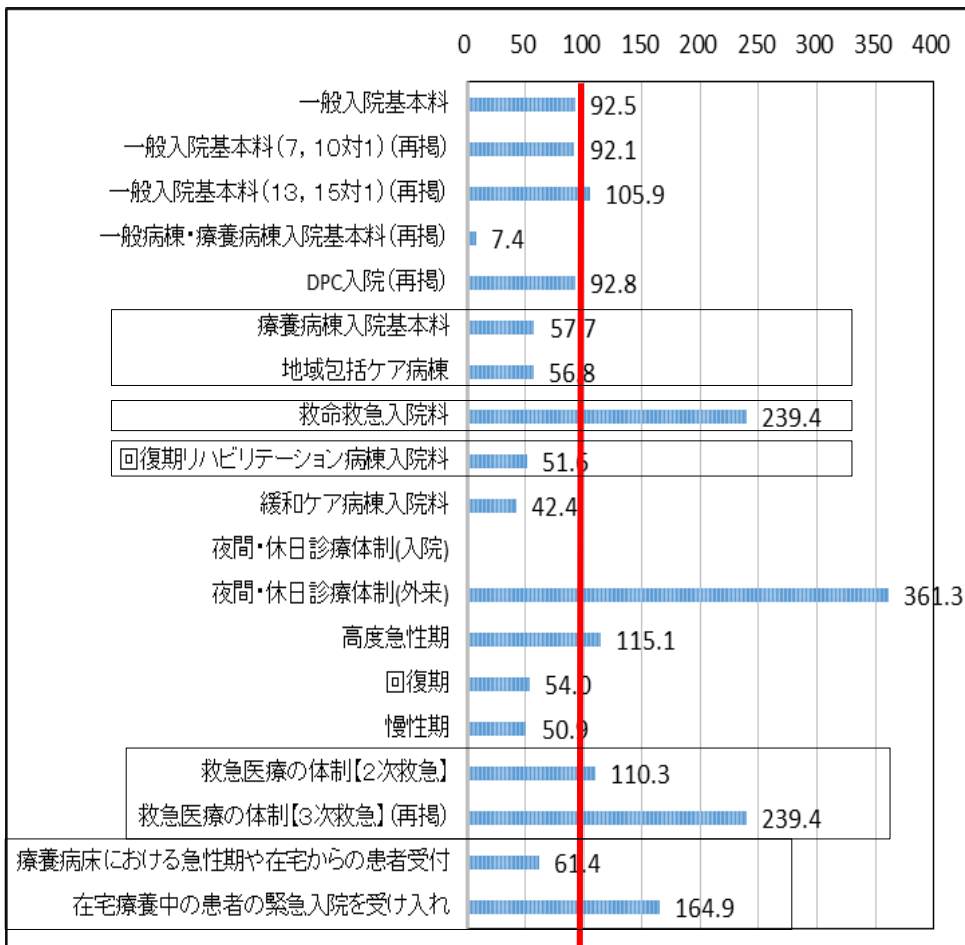
合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名																総計
負担者二次医療圏名	1401 横浜北部	1402 横浜西部	1403 横浜南部	1404 川崎北部	1405 川崎南部	1406 横須賀・三浦	1407 湘南東部	1408 湘南西部	1409 県央	1410 相模原	1411 県西	KG12 千葉県	KG13 東京都	KG19 山梨県	KG22 静岡県	総計	
1401 横浜北部	49.59%	6.12%	1.08%	3.82%	3.31%	0.42%	0.21%	1.02%	1.15%	22.47%	0.28%	0.72%	9.53%	0.07%	0.22%	14,649	
1402 横浜西部	15.50%	59.34%	4.85%	0.41%		1.28%	5.74%	1.59%	2.08%	5.49%	0.12%	0.27%	2.87%	0.14%	0.30%	9,740	
1403 横浜南部	8.17%	11.57%	30.25%	0.58%	0.26%	8.54%	2.66%	1.67%	5.24%	25.39%	0.87%	0.17%	4.21%		0.42%	12,661	
1404 川崎北部	12.57%	0.56%		45.26%	2.16%		0.13%	0.57%	0.75%	8.78%	0.31%	0.18%	27.45%	0.58%	0.69%	7,722	
1405 川崎南部	16.15%	2.09%	0.39%	8.85%	44.99%	0.32%	0.71%	1.00%	0.42%	10.59%	0.73%	2.92%	9.14%	0.22%	1.46%	5,884	
1406 横須賀・三浦	1.42%	2.42%	3.59%			80.31%	4.45%	1.19%	0.58%	1.92%	0.58%	1.46%	1.43%		0.65%	8,645	
1407 湘南東部	0.31%	2.04%		0.33%		4.76%	79.14%	4.10%	2.60%	3.17%	0.86%	0.31%	1.59%		0.78%	7,654	
1408 湘南西部		0.23%		0.11%			3.19%	66.59%	4.20%	2.94%	19.89%	0.11%	1.07%		1.67%	11,000	
1409 県央	1.59%	2.67%		0.35%		0.14%	2.97%	7.23%	57.86%	22.10%	1.41%	0.13%	2.87%		0.68%	9,029	
1410 相模原	0.52%			0.58%					4.73%	86.77%		0.32%	7.09%			3,469	
1411 県西	0.16%	0.16%				0.16%	0.41%	9.84%	1.11%	0.66%	78.11%	0.16%	0.48%		8.77%	7,564	
総計	12,050	8,951	4,793	4,778	3,332	8,619	8,071	9,757	7,301	14,129	8,569	536	5,772	82	1,277	98,017	

・80.3%の患者が入院医療を圏域内で完結している。流出入拮抗。(H26から同傾向)

横須賀・三浦地域 地域包括ケア・回復期リハビリテーション病床 分布図 (H29病床機能報告)



横須賀・三浦における入院基本料関連の医療的行為に関する 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)



中分類	指標名	区分	横須賀・三浦
入院診療体制	一般入院基本料	入院	92.52
入院診療体制	一般入院基本料(7, 10対1)(再掲)	入院	92.13
入院診療体制	一般入院基本料(13, 15対1)(再掲)	入院	105.88
入院診療体制	一般病棟・療養病棟入院基本料(再掲)	入院	7.37
入院診療体制	DPC入院(再掲)	入院	92.78
入院診療体制	療養病棟入院基本料	入院	57.74
入院診療体制	地域包括ケア病棟	入院	56.81
特定入院料	救命救急入院料	入院	239.44
特定入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料	入院	51.6
特定入院料	緩和ケア病棟入院料	入院	42.37
その他	夜間・休日診療体制(入院)	入院	
その他	夜間・休日診療体制(外来)	外来	361.26
医療機能	高度急性期	入院	115.06
医療機能	回復期	入院	54.04
医療機能	慢性期	入院	50.85
救急	救急医療の体制【2次救急】	入院	110.27
救急	救急医療の体制【3次救急】(再掲)	入院	239.44
在宅	療養病床における急性期や在宅からの患者受付	入院	61.4
在宅	在宅療養中の患者の緊急入院を受け入れ	入院	164.9

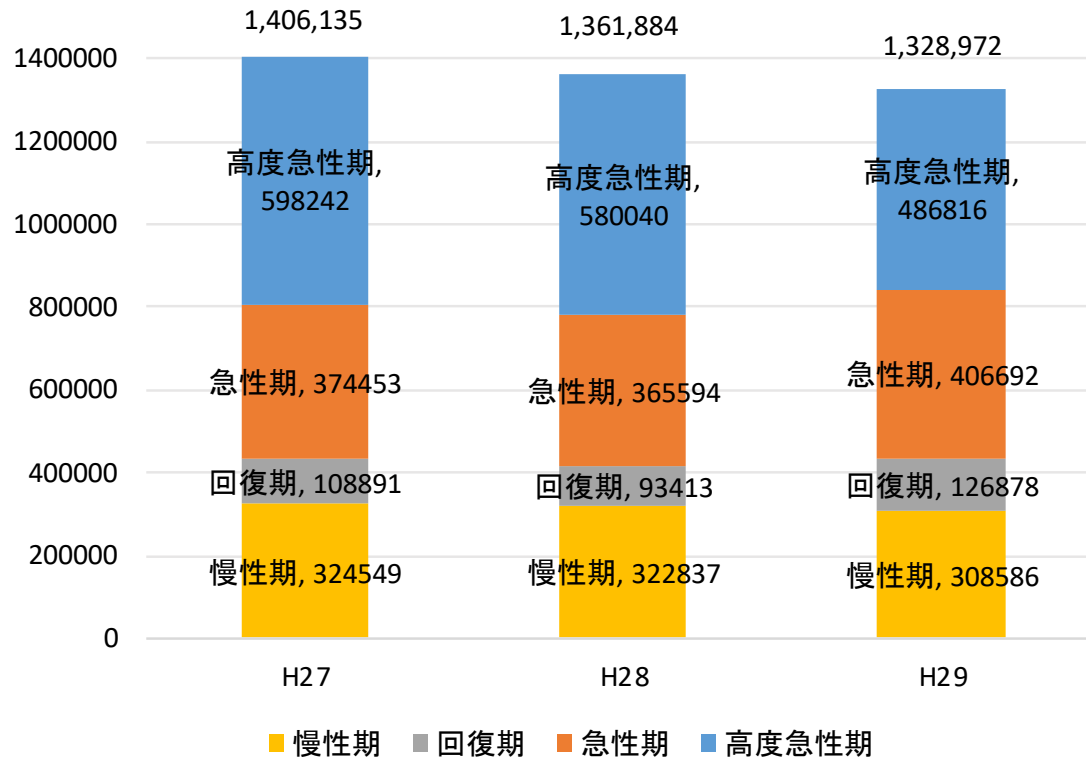
- ・療養病棟入院基本料や地域包括ケア病棟、回リハ病棟の出現率が低い。
- ・高度急性期・救急関連は出現率が高い。
- ・療養病床における急性期や在宅からの患者受付は低いが、在宅療養中の患者の緊急入院を受け入れ(在宅患者緊急入院診療加算)は高いため、一般病床における在宅と病院の連携体制は構築されている。

< SCRとは >

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数}}{\sum \text{年齢階級別人口}} \times 100 \div \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト出現率}}{\sum \text{年齢階級別人口}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

在棟患者延べ数

出典：病床機能報告



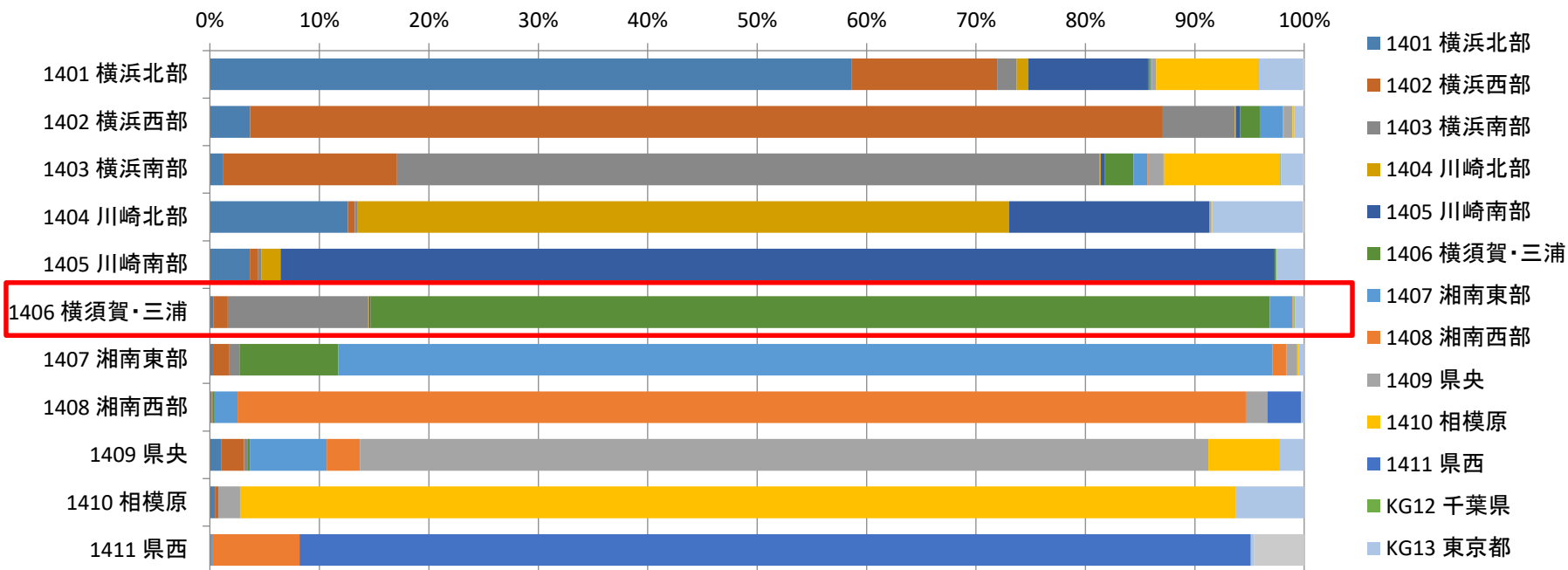
在棟患者延べ数・・・
7月1日～6月30日の1年間に毎日24時現在で当該病棟に在棟していた患者の延べ数

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	病床数 (休棟中等除く)	病床数 (休棟中等)
H29	486,816	406,692	126,878	308,586	1,328,972	5,066	435
H28	580,040	365,594	93,413	322,837	1,361,884	5,182	349
H27	598,242	374,453	108,891	324,549	1,406,135	5,211	295

○急性期、回復期の患者数に増加傾向が見られる。全体数は減少しているが、病床数の減少や、休棟中等の病床の増加が影響していると考えられる。

救急

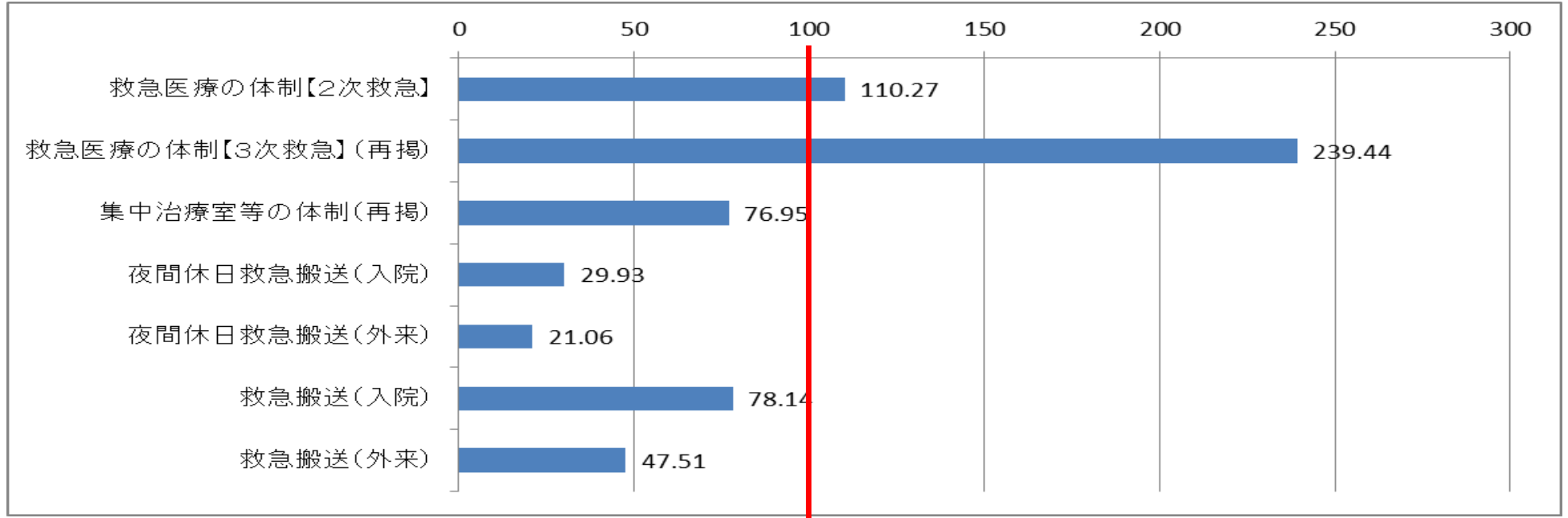
横須賀・三浦における救急医療の自己完結率・二次救急(平成28年度NDBデータ:入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名														山梨県	静岡県	総計
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県	総計	
1401 横浜北部	58.65%	13.29%	1.77%	1.05%	10.95%	0.16%	0.15%	0.08%	0.36%	9.32%		0.04%	4.08%	0.10%		24,409	
1402 横浜西部	3.66%	83.42%	6.59%	0.07%	0.41%	1.76%	2.14%	0.05%	0.80%	0.18%			0.87%		0.04%	26,361	
1403 横浜南部	1.15%	15.93%	64.22%	0.09%	0.40%	2.59%	1.27%	0.07%	1.41%	10.64%	0.05%	0.04%	2.04%		0.09%	28,399	
1404 川崎北部	12.61%	0.63%	0.19%	59.61%	18.28%				0.14%	0.14%			8.25%		0.14%	8,383	
1405 川崎南部	3.64%	0.76%	0.32%	1.72%	90.84%	0.13%						0.09%	2.51%			10,969	
1406 横須賀・三浦	0.29%	1.34%	12.84%	0.06%	0.14%	82.17%	2.08%	0.08%	0.08%			0.07%	0.86%			17,264	
1407 湘南東部	0.18%	1.59%	0.91%			9.01%	85.40%	1.28%	0.96%	0.10%			0.56%			14,125	
1408 湘南西部		0.16%	0.12%			0.15%	2.10%	92.13%	1.98%		3.07%		0.31%			9,461	
1409 県央	1.02%	2.08%	0.36%			0.18%	7.03%	3.03%	77.54%	6.53%			2.23%			12,176	
1410 相模原	0.45%	0.31%							1.99%	90.96%			6.28%			3,519	
1411 県西							0.20%	7.97%			86.94%		0.29%		4.59%	5,530	
総計	17,280	30,632	22,857	5,497	14,417	16,746	14,452	9,771	10,559	9,368	5,111	44	3,537	24	301	160,596	

・82.2%の患者が入院医療を圏域内で完結している。12.8%が横浜南部に流出している。流出超過。(H26から同傾向)

横須賀・三浦における救急関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)



中分類	指標名	区分	横須賀・三浦
救急	救急医療の体制【2次救急】	入院	110.27
救急	救急医療の体制【3次救急】(再掲)	入院	239.44
集中治療	集中治療室等の体制(再掲)	入院	76.95
救急搬送	夜間休日救急搬送(入院)	入院	29.93
	夜間休日救急搬送(外来)	外来	21.06
救急搬送	救急搬送(入院)	入院	78.14
	救急搬送(外来)	外来	47.51

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流入入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

○医療圏別・救急機能別・救急患者数等の状況

医療圏	救急機能区分 (※指定はH30.4.1現在)	機関数	救急患者数 (休日・夜間・時間外 受診患者延数)	圏内 構成比	内、緊急入院	圏内 構成比	救急車 受入件数※	圏内 構成比
横須賀・三浦	救命救急センター	3	53,220	75.3%	11,288	76.0%	29,443	77.2%
	地域医療支援病院のみ指定	1	3,453	4.9%	957	6.4%	2,989	7.8%
	救急告示・輪番病院のみ指定	13	13,898	19.7%	2,605	17.5%	5,655	14.8%
	上記以外(≠救急機能)	11	86	0.1%	11	0.1%	49	0.1%
	計	28	70,657	100.0%	14,861	100.0%	38,136	100.0%

※上記、救命救急センターには、地域医療支援病院、救急告示病院、病院群輪番制病院の指定を受けている病院を含む。

※上記、「地域医療支援病院のみ指定」欄には、救急告示指定を受けた病院、病院群輪番制病院の指定を受けている病院を含む。

※救急車受入件数とは、救急用自動車及び救急医療用ヘリコプターにより搬送された患者の受入件数(病院間の転院搬送件数は含まない)

○医療圏別・救命救急センター別、救急患者数(=休日・夜間・時間外受診患者延数)の状況

二次保健医療圏	救急患者数	割合	その他の救急機能	割合
横須賀・三浦 全体	70,657	-		
医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院	30,130	42.6%	地域医療支援病院・救急告示病院	75.3%
横須賀市立うわまち病院	8,413	11.9%	地域医療支援病院・救急告示病院	
国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病	14,677	20.8%	地域医療支援病院・救急告示病院	

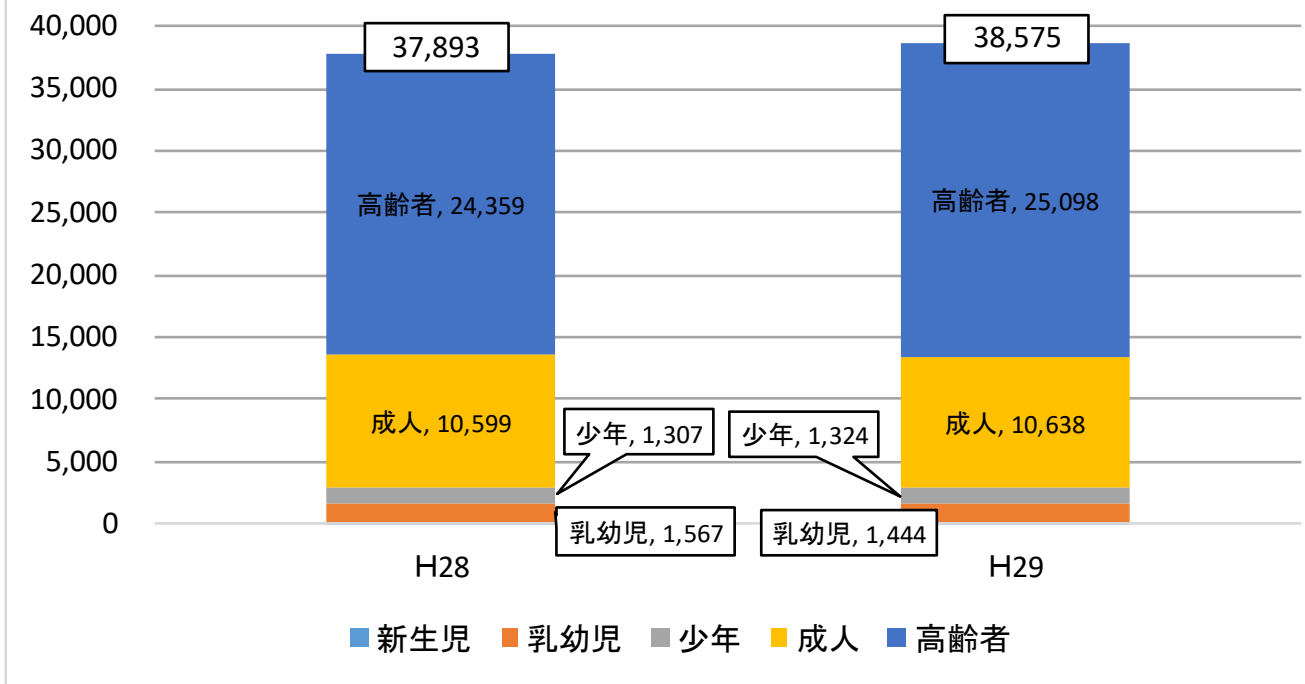
○医療圏別 救命救急センター別 救急車受入件数

二次保健医療圏	救急車受入	割合	その他の救急機能	割合
横須賀・三浦 全体	38,136	-		
医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院	13,198	34.6%	地域医療支援病院・救急告示病院	77.2%
横須賀市立うわまち病院	6,403	16.8%	地域医療支援病院・救急告示病院	
国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病	9,842	25.8%	地域医療支援病院・救急告示病院	

○救命救急センターが、圏域内の救急患者数、救急車受入件数の7割強をカバー。

○救命救急センターの救急車受入件数が多く、二次・三次救急を包括した救急機能を担っていると推測。

年齢区分別 搬送人員数



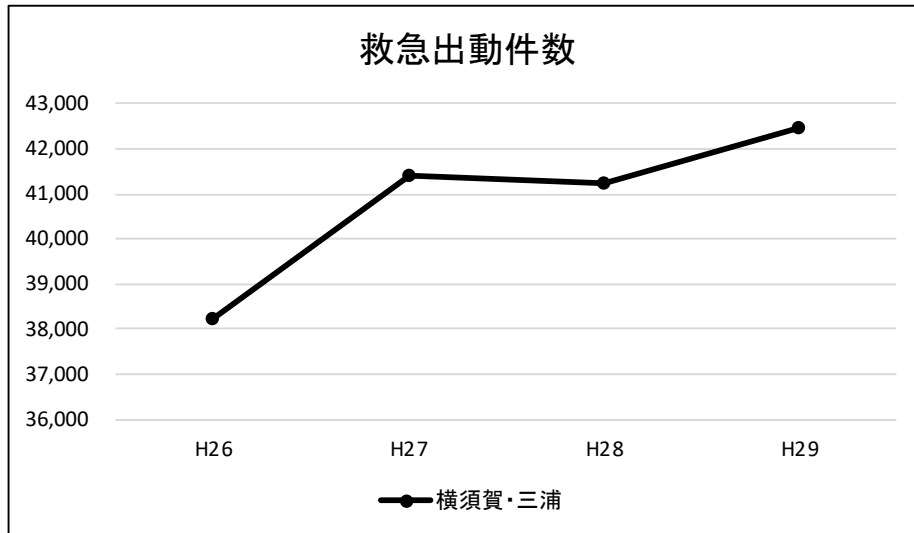
	H28	H29
新生児	61	71
乳幼児	1,567	1,444
少年	1,307	1,324
成人	10,599	10,638
高齢者	24,359	25,098
合計	37,893	38,575

※ 横須賀消防局、鎌倉市消防本部、逗子市消防本部
葉山町消防本部の件数を合算

出典：消防の現況調査

○高齢者の搬送人員が増加している。その他の年齢区分の変化は小さい。

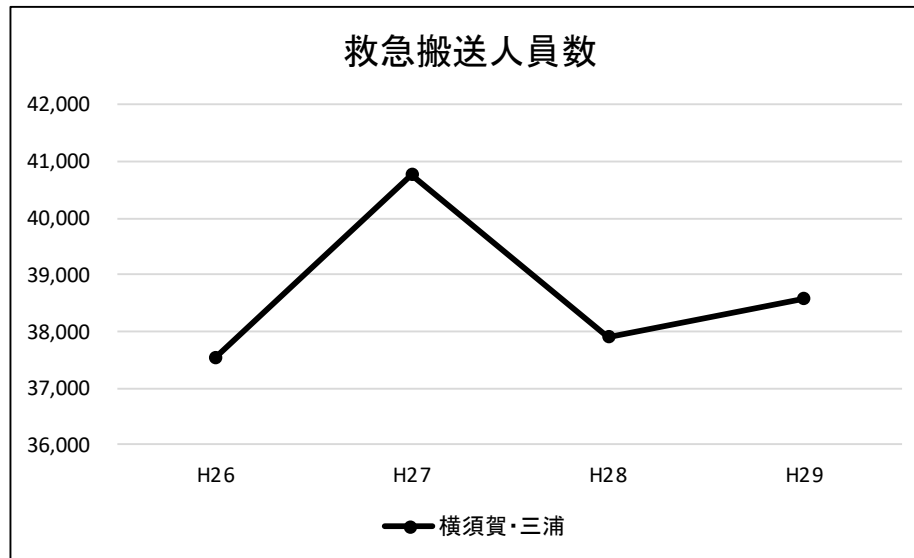
救急出動件数



救急出動件数

消防本部名	出動件数			
	H26	H27	H28	H29
横須賀・三浦	38,221	41,417	41,237	42,475
横須賀市消防局	23,845	26,232	25,967	26,956
鎌倉市消防本部	9,757	10,232	10,368	10,656
逗子市消防本部	3,048	3,313	3,317	3,215
葉山町消防本部	1,571	1,640	1,585	1,648

救急搬送人員数



救急搬送人員数

消防本部名	搬送人員数			
	H26	H27	H28	H29
横須賀・三浦	37,539	40,776	37,893	38,575
横須賀市消防局	23,383	25,873	23,448	23,964
鎌倉市消防本部	9,629	10,037	9,857	10,032
逗子市消防本部	3,008	3,292	3,089	3,000
葉山町消防本部	1,519	1,574	1,499	1,579

○救急出動件数は増加している。救急搬送人員数は微増傾向。

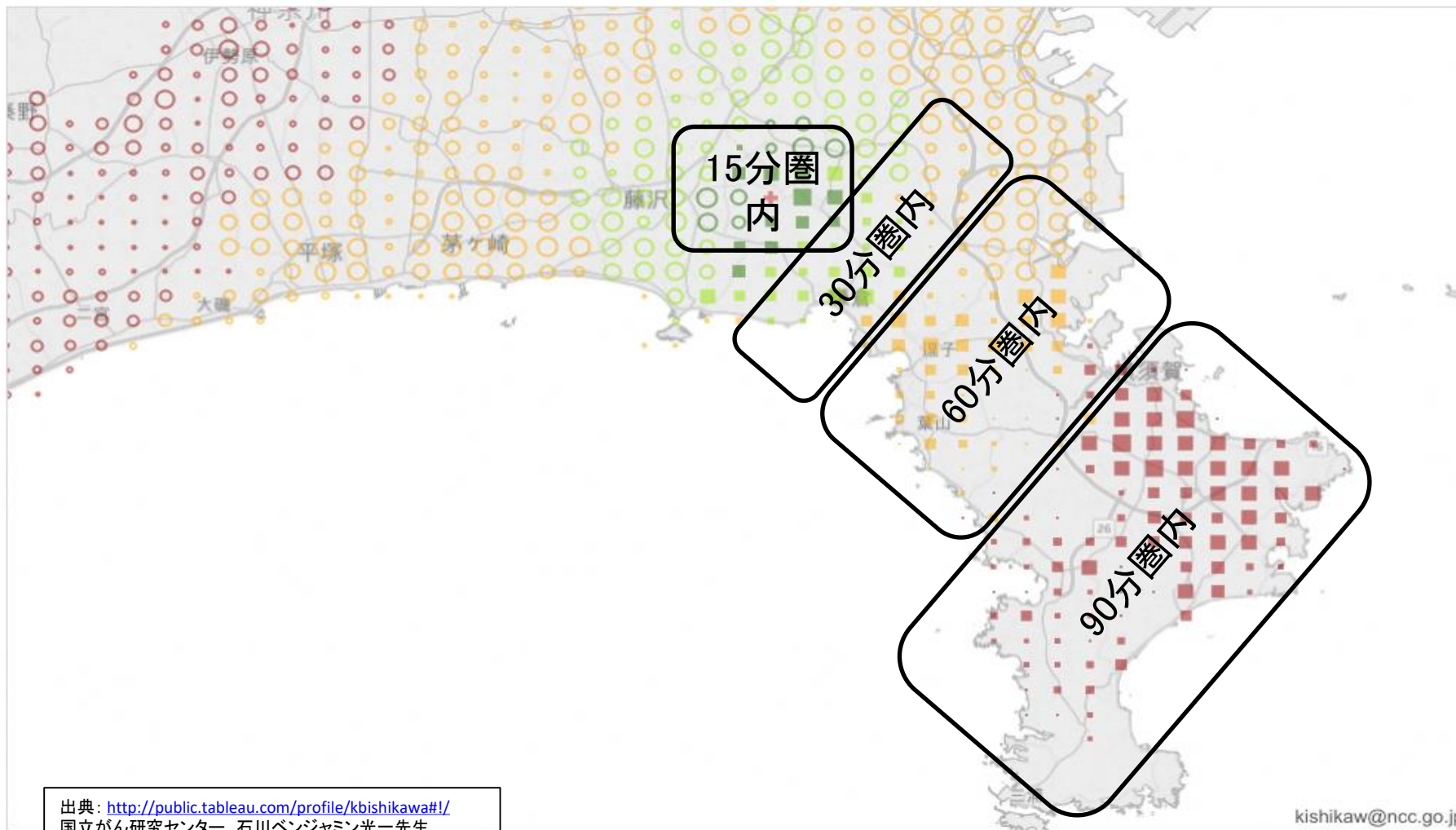
湘南鎌倉総合病院

厚労省DPC調査(H27)参加施設について運転時間による診療圏を計算

運転時間による診療圏(有料道路利用なし) / 2015

都道府県 14神奈川県
 2次医療圏 1406横須賀・三浦
 病院名 20036沖縄徳洲会湘南鎌倉総合病院
 DPC病院群 すべて

Rcat	総人口	0-14歳	15-64歳	65歳以上	0-2歳
15分以内	152,689	20,040	98,584	33,905	4,039
30分以内	703,670	92,961	448,873	161,112	17,831
60分以内	3,532,649	459,228	2,278,299	781,219	87,598
90分以内	7,679,959	1,013,249	5,064,034	1,560,835	195,997



出典: <http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>
 国立がん研究センター 石川ベンジャミン光一先生

kishikaw@ncc.go.jp

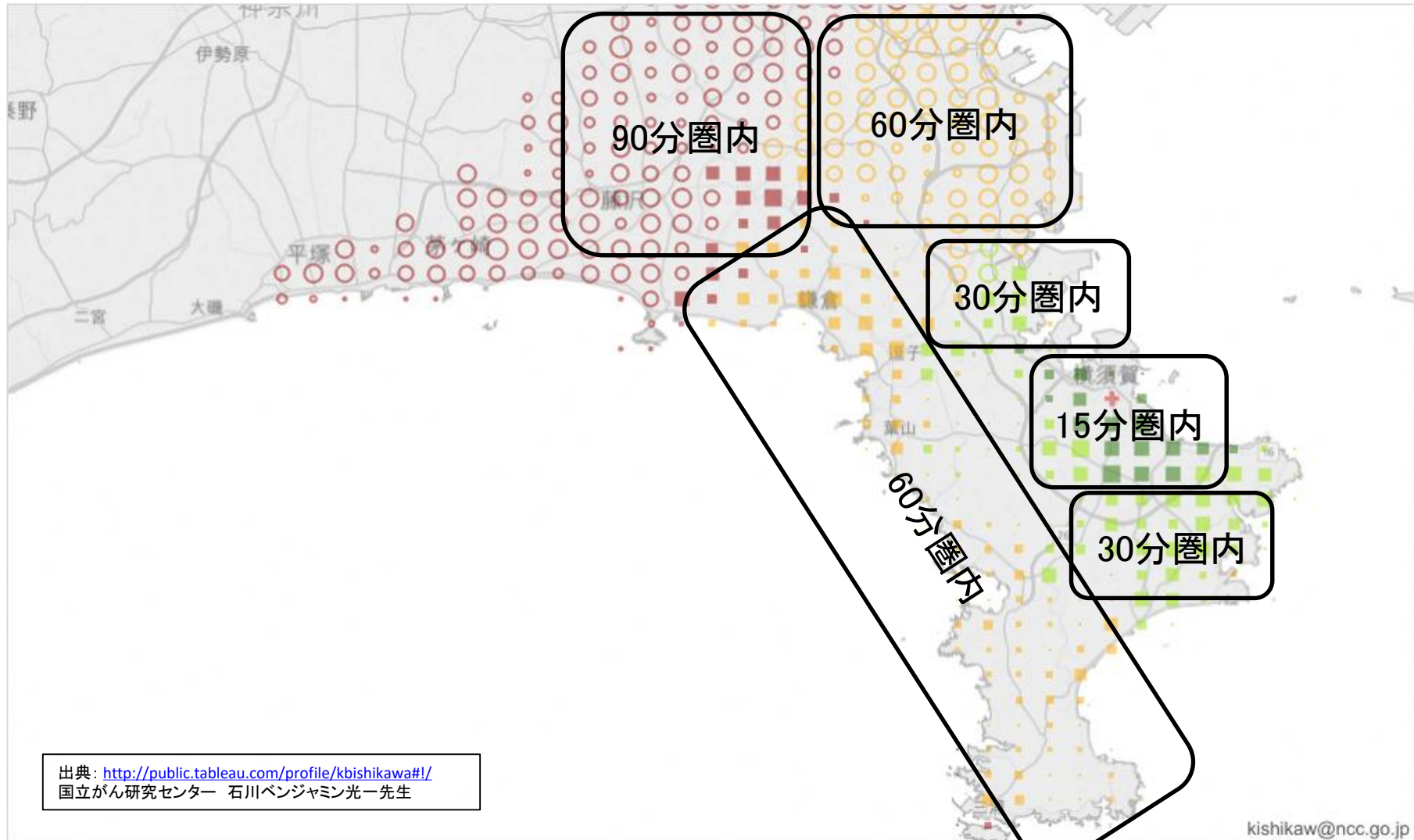
横須賀共済病院

厚労省DPC調査(H27)参加施設について運転時間による診療圏を計算

運転時間による診療圏(有料道路利用なし) / 2015

都道府県 14神奈川県
 2次医療圏 1406横須賀・三浦
 病院名 20035 K K R 横須賀共済病院
 DPC病院群 すべて

Rcat	総人口	0-14歳	15-64歳	65歳以上	0-2歳
15分以内	124,030	13,743	78,429	31,858	2,362
30分以内	423,082	51,976	263,323	107,552	9,105
60分以内	1,250,336	155,337	787,049	306,037	28,382
90分以内	3,728,485	477,034	2,400,553	833,290	90,629



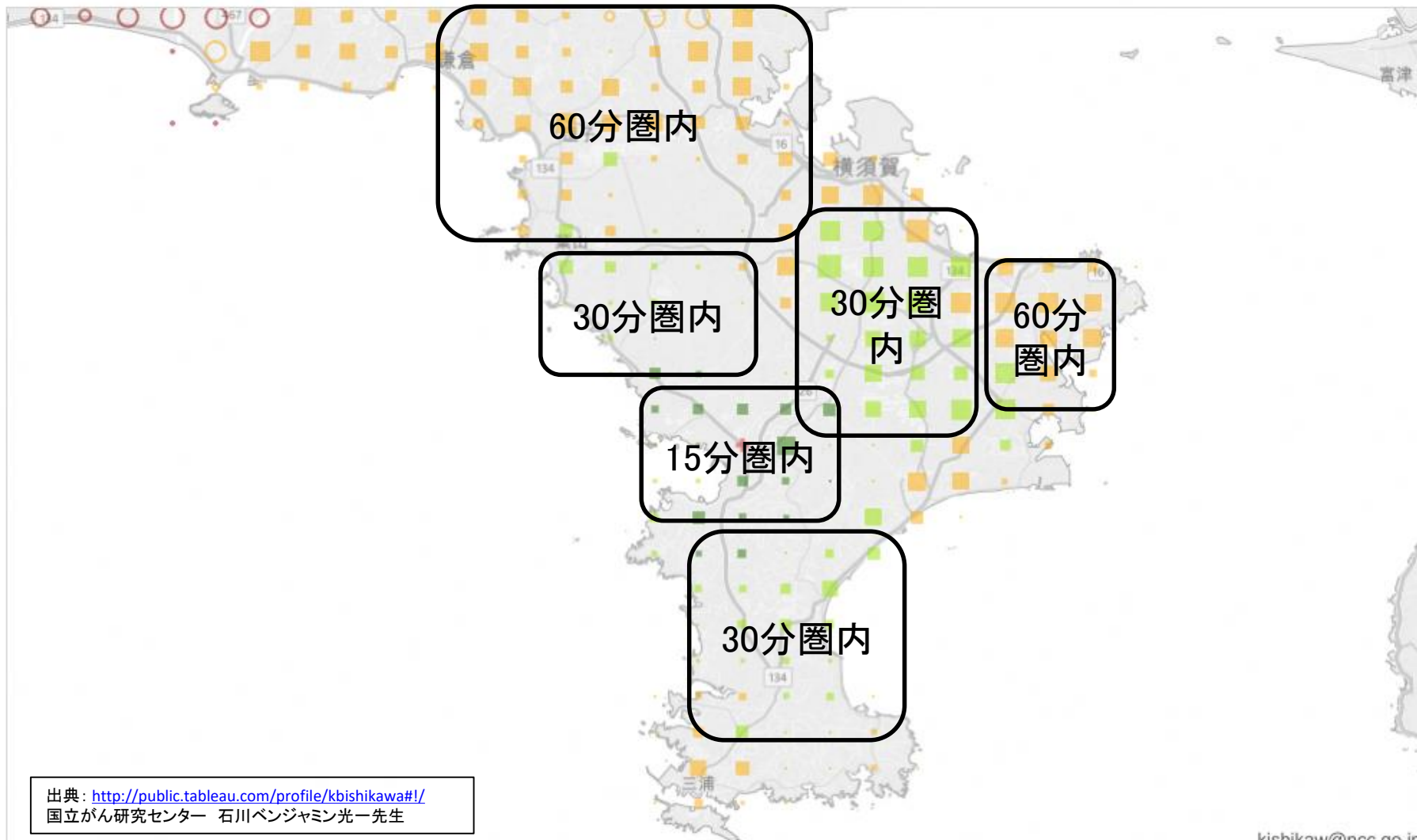
横須賀市立市民病院

厚労省DPC調査(H27)参加施設について運転時間による診療圏を計算

運転時間による診療圏(有料道路利用なし) / 2015

都道府県 14神奈川県 DPC病院群 すべて
 2次医療圏 1406横須賀・三浦
 病院名 30466横須賀市立市民病院

Rcat	総人口	0-14歳	15-64歳	65歳以上	0-2歳
15分以内	40,846	5,094	25,561	10,191	850
30分以内	264,834	32,993	164,079	67,733	5,714
60分以内	780,507	94,727	480,228	205,030	16,653
90分以内	2,282,651	295,227	1,457,971	526,241	55,078



出典: <http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>
 国立がん研究センター 石川ベンジャミン光一先生

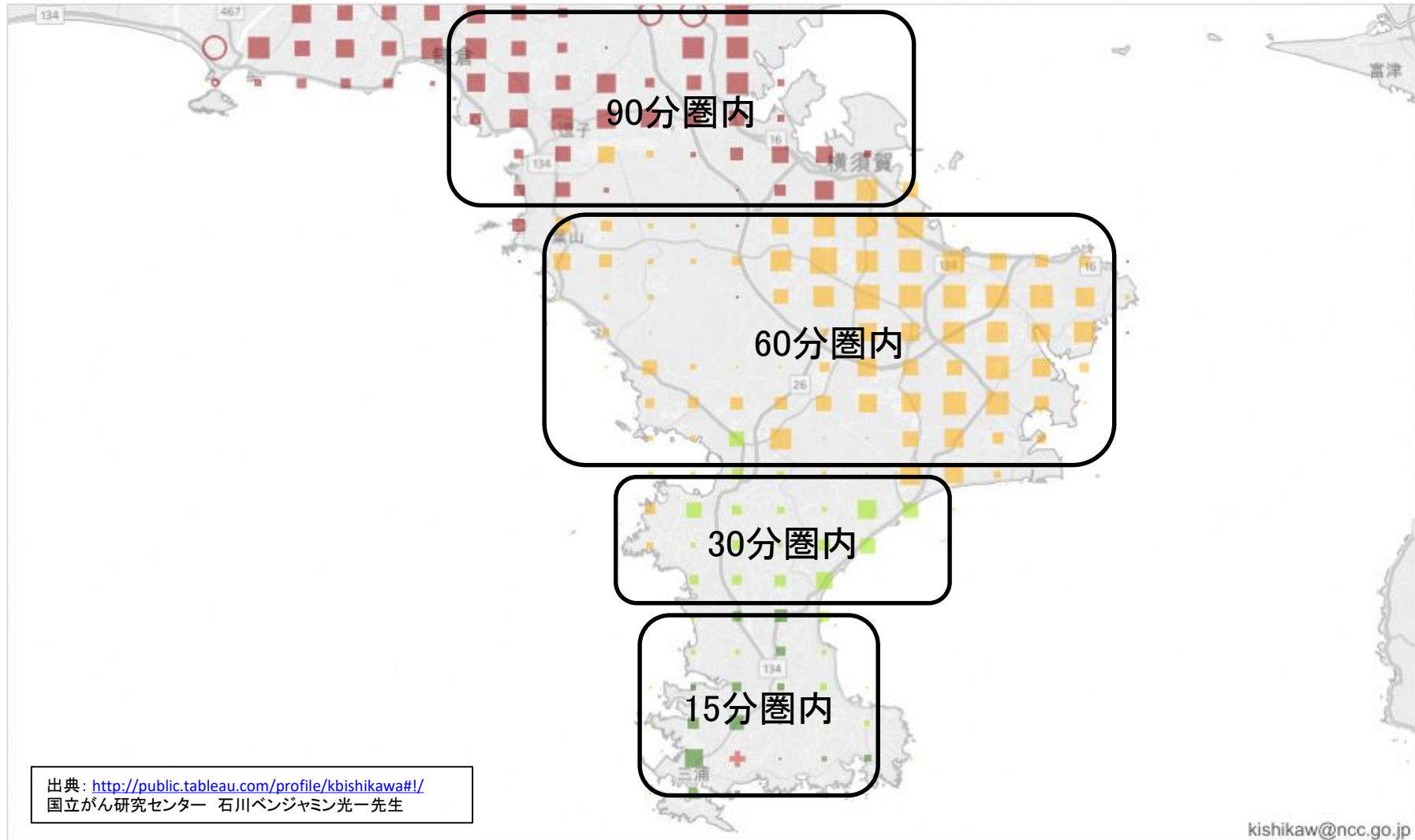
三浦市立市民病院

厚労省DPC調査(H27)参加施設について運転時間による診療圏を計算

運転時間による診療圏(有料道路利用なし) / 2015

都道府県 14神奈川県 DPC病院群 すべて
 2次医療圏 1406横須賀・三浦
 病院名 90024三浦市立病院

Rcat	総人口	0-14歳	15-64歳	65歳以上	0-2歳
15分以内	28,013	2,752	16,241	9,024	408
30分以内	75,900	8,893	46,893	20,086	1,460
60分以内	425,025	53,383	261,819	109,792	9,158
90分以内	803,298	97,917	497,669	206,935	17,418



出典: <http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>
 国立がん研究センター 石川ベンジャミン光一先生